

【今日の説教から】

「聖霊を受ける」ということが私たちにとって、教会にとって、宣教にとって、どれほど大きな意味があるかということをお教えされる箇所です。

ペテロはダビデの預言を通して、聖霊が与えられた事と、イエス様が死から復活された事の意味を力強く語りました。

「わたしの魂を黄泉に捨ておくことをせず、あなたの聖者が朽ち果てるのを、お許しにならない」という言葉は、ダビデ自身のためのものではなく、イエス様のことを表すダビデの預言であることを力説しました。ダビデは墓の中において、朽ち果ててしまいましたが、イエス様は墓の中にはいなかったからです。

「その子孫のひとりをお王位につかせよう…」、また「主はわが主に仰せになった、あなたの敵をあなたの足台にするまでは、わたしの右に座していなさい」との預言から、ダビデは王でありながら、自身の子孫である王を自らの主と告白しました。

ダビデが自らに勝る主、王、その方は黄泉に捨て置かれず、その聖者は朽ち果てることのないと言ったその方こそ、「神は、主またキリストとしてお立てになった」イエス様であるとペテロは語りました。

何という方に何ということをしてしまったのかという心を刺す痛烈な呵責の声を前にして、彼は悔い改め、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、曲がった邪悪な時代から救われよと語りました。曲がった邪悪な時代から救われる唯一の道がここに 있습니다。

皆様、おはようございます。6月に入りました。外は暑く、家の中は肌寒いといった不思議な気候ですが、外を行くと大変気持ちがいいですね。緑は濃く、空は青く、まだ湿気もさほどではなく、良い季節だなあと感じます。家の中に閉じこもらず、体を動かし、せいぜい運動に心掛けたいと思います。

さてあの奇跡的な、ペンテコステの出来事から早3週目となりました。炎のように燃える舌が弟子たち一人一人に、聖霊が注がれ、彼らは語るべき舌を聖霊によって与えられ、習いもしない多くの言語で神様の偉大な御業をほめたたえました。それから今日に至るまで、実にどれだけ多くの言語によって、聖霊の導きによってイエス・キリストの贖いによる神様の偉大な御業が語られてきたことでしょうか。

そしてこの奇跡にたじろぐ多くの神殿での礼拝者たちの前でペテロは大胆に語りました。

「イスラエルの人たちよ、今わたしの語ることを聞きなさい。あなたがたがよく知っているとおおり、ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇跡とするしとにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。」

神様はイエス様を通して、まさにイエス様を通して数々の力あるわざと奇跡とするしにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示された。そのようにして示されたのに、数々の力あるわざと奇跡とするしを見たにもかかわらず、あなた方はイエス様を受け入れなかった。不法の人々の手で十字架につけて殺した。

あなた方の尊敬するダビデ王は、詩編16編でこのイエス様に対してこう言っていたのに。わたしは常に目の前に主を見た。主は、わたしが動かされないため、／わたしの右にいて下さるからである。

それゆえ、わたしの心は楽しみ、／わたしの舌はよろこび歌った。わたしの肉体もまた、望みに生きるであろう。

あなたは、わたしの魂を黄泉に捨ておくことをせず、／あなたの聖者が朽ち果てるのを、お許しにならない／であろう。

あなたは、いのちの道をわたしに示し、／み前にあって、わたしを喜びで満たして下さるであろう』。

2:29 兄弟たちよ、族長ダビデについては、わたしはあなたがたにむかって大胆に言うことができる。彼は死んで葬られ、現にその墓が今日に至るまで、わたしたちの間に残っている。

詩編 16 編

ダビデのミクタムの歌

16:1 神よ、わたしをお守りください。わたしはあなたに寄り頼みます。

16:2 わたしは主に言う、「あなたはわたしの主、あなたのほかにわたしの幸はない」と。

16:3 地にある聖徒は、すべてわたしの喜ぶすぐれた人々である。

16:4 おおよそ、ほかの神を選ぶ者は悲しみを増す。わたしは彼らのささげる血の灌祭を注がず、その名を口にとなえることをしない。

16:5 主はわたしの嗣業、またわたしの杯にうくべきもの。あなたはわたしの分け前を守られる。

16:6 測りなわは、わたしのために好ましい所に落ちた。まことにわたしは良い嗣業を得た。

16:7 わたしにさとしをさずけられる主をほめまつる。夜はまた、わたしの心がわたしを教える。

16:8 わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない。

16:9 このゆえに、わたしの心は楽しみ、わたしの魂は喜ぶ。わたしの身もまた安らかである。

16:10 あなたはわたしを陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられないからで

ある。

16:11 あなたはいのちの道をわたしに示される。あなたの前には満ちあふれる喜びがあり、あなたの右には、とこしえにもろもろの楽しみがある。

あの詩編16編の後半の言葉、「あなたはわたしを陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられないからである。」という言葉は、彼自身のためのものではありませんでした。ダビデは死んで葬られ、現にその墓が今日まであり、彼の身体は朽ち、骨は墓の中にあるからです。それではこの詩編16編は誰のことを言っているのか。

「わたしは主に言う、『あなたはわたしの主、あなたのほかにわたしの幸はない』」という主とは誰で、「わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない。」とダビデが言う主とは誰なのか。「あなたはわたしを陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられない」ということが本当に実現したのはイエス様であり、ダビデがイエス様を仰ぎ見ながら神様に自らの救いを信じて神様からいただいた預言であり祈りであったことが分かるのです。ダビデの前にはイエス様がおられました。イエス様が死に打ち勝ち、黄泉に捨ておられず、その勇者は朽ちることがないので、ダビデもまた、イエス様に倣って「わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない」と告白しました。

2:30 彼は預言者であって、『その子孫のひとり王位につかせよう』と、神が堅く彼に誓われたことを認めていたので、

2:31 キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである。

2:32 このイエスを、神はよみがえらせた。そして、わたしたちは皆その証人なのである。

ダビデは預言者であり、実に彼の千年後に偉大な子孫が出て、神様が王位に就かせるということを知っていました。ダビデ自身も王でしたから、その子孫が王になるということは当然のことです。しかし、この「子孫のひとり」という方はほかの多くの子孫たちとは異なって特別な方であり、ダビデ自身が「主」と呼ぶべきお方であったことをペテロは語ります。それがイエス様なのです。それが復活され、「黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない」ということががまさしく成就したイエス様であり、イエス様の復活とは、このダビデが主と呼ぶ方を指し示すために大きな意味を持っていたのです。

2:33 それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。このことは、あなたがたが現に見聞きしているとおりである。

2:34 ダビデが天に上ったのではない。彼自身こう言っている、／『主はわが主に仰せにな

った、

2:35 あなたの敵をあなたの足台にするまでは、／わたしの右に座していなさい』。

2:36 だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである』。

そうしてイエス様が復活して、父なる神様のおられる天に帰られたことこそがまさしく聖霊の注がれる出来事につながったのですから、聖霊がこの時降ったということも、イエス様が主であり救い主キリストであることの証明以外の何物でもないわけです。

2:36 だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである』。

2:37 人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言った。

2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

そんなお方を傲慢不遜にも私たちが十字架にかけて殺してしまったのだ、それら賛同し、支持してしまったのだという悔いが、呵責が鋭く多くの人たちの心に突き刺さりました。

その告白に対するペテロの宣言は素晴らしいものでした。

2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

さあ今あなた方に必要なのは悔い改めだ。悔いだけでなく、悔いて改めるのだ。心の姿勢を一転させて、心を神様に向き直って新しく出発するのだ。罪の赦しを得させる主の贖いによる洗い、洗礼を受けなさい。そうすればあなた方も素晴らしい神様からの賜物、プレゼントを手にすることが出来る。それが神様の清い霊、聖霊だ。聖霊なる神、助け主、仲保者が心の中に住んでくださるのです。

ヨハネ 4:13 イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう』。

ヨハネ 7:37 祭の終りの大事な日に、イエスは立って、叫んで言われた、「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい。

7:38 わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう」。

7:39 これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさして言われたのである。

2:39 この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

2:40 ペテロは、ほかになお多くの言葉であかしをなし、人々に「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。

2:41 そこで、彼の勧めの言葉を受け入れた者たちは、バプテスマを受けたが、その日、仲間に加わったものが三千人ほどあった。

2:42 そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

悔い改め、洗礼を頂き、賜物として聖霊を受ける。このことは、あなた方にも、遠くにいる人たちにもと語られます。どんなに今まで心離れていた人たちにも範囲の有無なく与えられるものです。

この曲がった時代。「曲がった」とは、不正な、インチキな、詐欺の、邪悪な、非を認めない、頑迷な、強情な、不正直な、不誠実な、ごまかしのという意味があります。まさにこの時代を指すのではないのでしょうか。こういう時代の風が横行するところに幸せが、平和があるのでしょうか。どうしたらこの曲がった、邪悪な時代から救われることが出来るのでしょうか。それはひたすらイエス様の贖いと罪の赦しにより、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう」ということにかかっているのです。

この福音、良い知らせに実に三千人もが応答し、神様の家族に入りました。そして一同はひたすら使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていました。ここに命の始まりがあります。私たちのいのちが、救いが、きよめが、祝福がここに 있습니다。

曲がった時代から救われ、救われていのちと祝福に歩めとの御言葉の中、私たちが導かれていることに感謝いたします。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。神様はダビデを通してその千年後に生まれるイエス様のことをはっきりとお語りになりました。ダビデは墓に下りましたが、神様はそのお言葉の通り、イエス様を陰府に捨てておかず、あなたの聖なる者を朽ち果てるままにしておかれませんでした。私たちは朽ちるべきものですが、この復活のイエス様によって命に至る道をわたしたちに示され、ありがとうございます。この赦しがありますから、私たちが悔い改める時、洗礼により罪赦され、聖霊を受けられることに感謝いたします。曲がった邪悪な時代から救い出されることに感謝いたします。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン